



1 学期、ありがとうございました！

あっという間に 1 学期最後のこどもニュースとなりました。

4 月の休園措置ではご心配をおかけしたにもかかわらず皆様の温かいご理解、ご協力をいただきました。あらためて感謝申し上げます。その後感染状況もやや落ち着いたとホッとしていましたが、ここにきて増加の気配が…。心配です。また梅雨明けの早さや 6 月最終週の危険な程の気温の高さ！戦争や様々な事件…私達大人は次の世代の子ども達にどんな地球を残せるでしょうか。他人事にならず祈りあい、またなにかできる事を考えていきたいものです。

園ではバザーの準備はじめ、各有志の会が活発に活動された 1 学期でした。感染状況は良くなったわけではありませんが、減少傾向であったこと、試行錯誤しながら方法を探る、という事に皆さんが取り組んでくださったこと、またこの園の、「保護者も共に育ちあう」という繋がりやの伝統をコロナ禍だからこそ継承していこうと様々な場面でお一人おひとりが意識してくださった結果だと感じられ、本当に感謝しています。どうもありがとうございました。

「たっぷり、ゆったり、じっくり」した時間の中で「とことん遊ぶ」豊かさ

先日大阪の「あおば福祉会」の方々 4 人、園を見学にいらしてくださいました。実は 2018 年度、園庭ワークの活動と園庭の環境が「ソニー教育支援プログラム優秀園」を受賞した時の実践提案研究会(2019 年 2 月 1 日実施)に参加された保育士、園長先生方です。園庭の環境、また園庭ワークに興味を持たれ、保護者の皆さんと創り守っている園庭で、子ども達が実際にどのように遊びを展開しているのかを見学に来られたのです。ウォーターライダーに驚き大喜びで滑ったり、子ども達と泥んこを楽しんだり、またちょうど活動されていた園芸の会やバザー委員さん

にいろいろとお話を聞いたり、と様々な場面を見ていただきました。

4人の先生方が一様に言ってくださったのが「ここは時間がゆっくりと流れている。子どもも大人も大きな声を出していない。たっぴり遊び、ゆったり遊び、じっくり遊んでいる。なんて豊かなんだ。」ということ。

片付けのベルにも驚かれていました。

「あのベルで、ゆるゆると片付けに向かっていく。

不思議！切り替えがすぐにできにくそうな子ども、

自分の気持ちと折り合う時間があって

ちゃんと切り替えていく。

子どもにしっかりと主体があり、

でも園生活の流れもある。



たっぴり遊ぶから、また次に充分遊べると知っているから切り替えられるんですね。」

とってください、あらためて自分たちの保育を振り返る事が出来ました。

初代園長の戸近太郎先生は医学博士で解剖学の権威であり「こどもの育ちは一人ひとり違う。一人ひとりをいかし、大切に作る保育をしてほしい」と望まれました。

遊びを通して育つ子ども達一人ひとりを大事にするには、たっぴりの時間が必要です。それぞれがじっくりと考え、あれこれと試してみる時間、うまくいかなくてもやり直してみる時間、最後までやり遂げる時間などなど…。これらをひとりで、あるいは友だちと分かち合って過ごす、そのような豊かな時をこれからもたっぴりと保障できる保育をしたいと思っています。

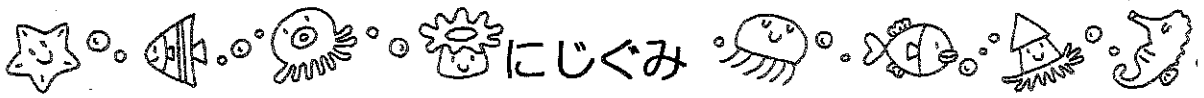
いよいよ夏休み

長いお休みが始まります。楽しい計画があったり時間に追われる生活ではなくなるかもしれませんが、子ども達もご家族の皆様も生活のリズムを崩さないように気をつけましょう。

園ではお休みの間に50周年記念の新しい遊具の設置を予定、また保育者も記念研修会などを実施します。子ども達にとってより良い保育環境の整備に努め、また保育の質向上を目指し学びの時とさせていただきます。

皆様もお子様との豊かな時となりますようにお祈りしています。元気で9月に再会いたしましょう。

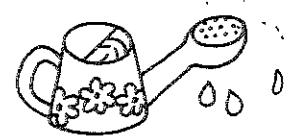
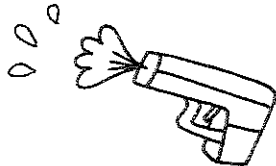
児玉 芽 



にじぐみ

7月に3名のお友だちを迎え、ますます賑やかになったにじぐみさん。出席調べで「〇〇ちゃん♪」とリズムに乗せてお名前を呼ぶと、「は・あ・い♪」と手拍子をつけてお返事をしてくれます。中には恥ずかしくて、顔をプイッとそむけてしまう子もいて、またそれを見て面白いと思った子はまねっこをして楽しんでいます。

体調を崩してお休みのお友だちがいることを子どもたちに確認すると、「〇〇ちゃん!」「〇〇マークの子!」と答えてくれます。なかなか全員揃う日が少ないのですが、こうしてお休みをしているお友だちに思いを寄せ、「元気になりますように。」とおいのりすることで、つながりを感じることが出来たらと願っています。



みずあそびきもちいいね!

とにかく暑い今年の夏! どろんこ遊びや水遊びがとっても気持ちいいです。

始めは濡れることが嫌だったり、泥の感触が苦手だったり、裸足は絶対いや! という子もいました。しかし、この暑さのおかげで! 水の冷たさやミストの涼しさ、とろとろの泥の気持ちよさを感じることができ、積極的にどろんこ遊びや水遊びを楽しむ子が増えてきました。プールでは自分たちで作ったペットボトルのシャワーやスーパーボールやみずでっぽうで遊んでいます。そして金城学院幼稚園名物のウォータースライダー!! 「キャーッ」と歓声を上げながら滑ってくる年上児の様子を見て、「やってみたい!」とすぐに思い立つ子もいれば、「絶対無理!」と感じている子もいます。「先生と一緒に!」という子も何回か滑るうちにいつの間にか一人で楽しんでいることも。子どもたちなりに自分の中で「やってみたい」「できるかも」と感じる時があるので、そうしたタイミングを見計らって誘っていきたいと思っています。

わくわく♡製作あそび



雨の日は、お部屋でソフトブロックやおままごとなど、おもちゃで遊んだりしていますが、箱やテープを使って製作することも楽しんでいます。なかでもビニールテープはカラーバリエーションも豊富で人気です。箱や紙に貼って「きれいでしょ☆」「うさぎさんになったよ」と飾り付けたり、見立てたり、楽しみ方はそれぞれです。ビニールテープを切ってもらうのを待ちきれず、自分ではさみを使って切れるようになった子もいますよ。また、絵の具も大人気! のびのび筆をつかって大きな紙に描いたり、クレパスをつかったはじき絵にびっくりしたり…。様々な素材や道具に出会って、創作意欲をかきたて、その取り組みの中でひとりひとりの感性も大切にしたいです。

9月にまた新たに2名のお友だちを迎えます。どんな出会いがあるのかとても楽しみです♪
2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

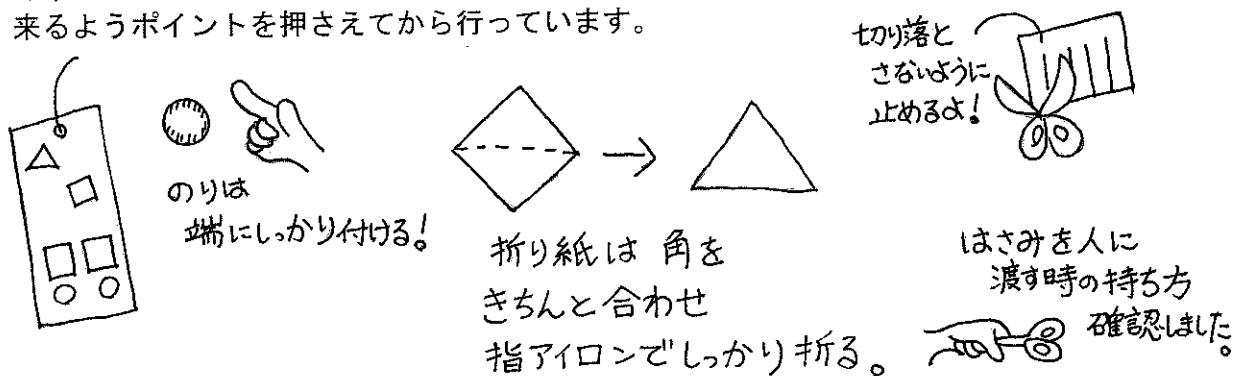
Akiest

年少あつまり

前回お伝えした2つのグループに分かれて活動を行ってきた年少あつまり。すっかり、グループの仲間ともあつまり担当の保育者とも打ち解けて楽しく集まっています！！

<七夕製作>

持ち帰りました飾りの中に年少あつまりで作った作品がありました。でんぷんのりとはさみを使う前に、しっかり道具の使い方を説明し安全に楽しく製作が出来るようポイントを押さえてから行っています。



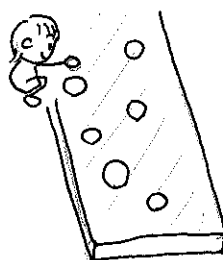
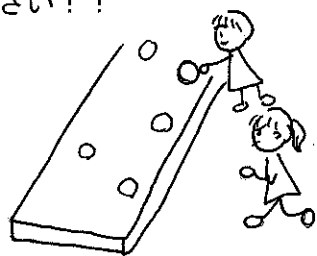
はさみを上手に扱えている子が多かったです。折り紙では三角折りに苦戦する子が多くいました。けれども、今回の製作を通して綺麗に折ることに興味を持っていた子もいました。ぜひ夏休み、ご家庭でも一緒に折りがみ遊びをしてみてください。

<リズム・ゲーム>

一学期最後のあつまりで、大きな遊戯室に全年少さんが集まりリズムを行いました。リズム大好き年少さんは、広い遊戯室で思いっきり走り、のびのびと体を動かせる喜びを感じていました！ペアになって行うリズムではクラス関係なく相手を見つけて遊びました。二学期はよりクラスを越えての交流が出来るように計画していきたいと考えています。

「宝とりゲーム」というルール遊びにも挑戦。決められたルールを理解して遊ぶことは難しいですが、ルールを守り楽しんで遊ぶことが出来る子が多かったです。これからも色々なルール遊びに挑戦していきたいと思います！！

二学期の年少あつまりでは保育参加も予定しております。楽しみにお待ちしております！！



相手チームの宝を取りに行き、自分のチームのマットまで運びます。
最後に宝の数が
多いチームの勝ち！

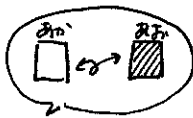


～年中あつまり～

今回のこどもニュースでは、年中あつまりでの「ルールのある遊び（室内編）」と「笹飾り作り」の様子をお伝えします！

☆ルールのある遊び（室内編）

「赤青対決！」裏表が赤と青に塗分けてある段ボールの板をひっくり返して、自分のチームの色を増やしていくゲームです。



- 赤チーム→青色の板をめくって赤色にする
- 青チーム→赤色の板をめくって青色にする

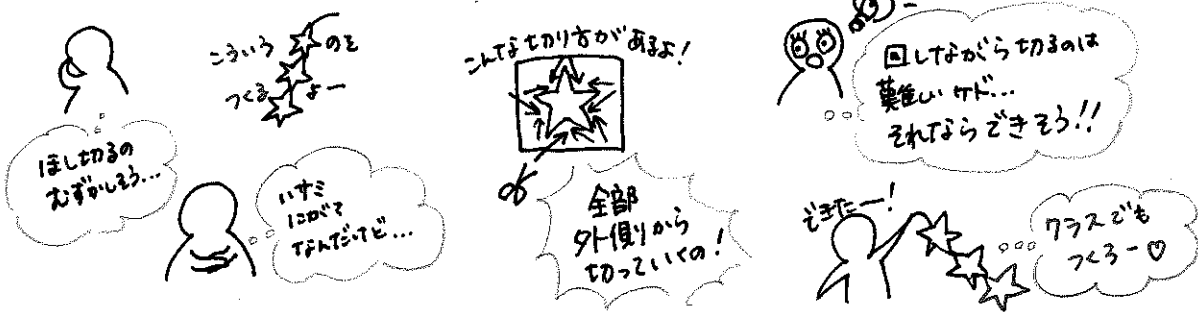


自分のチームの色とめくろうとする色が違うので、説明時には「？」が浮かんでいる子どもたちもいましたが、実際にやってみることで「こういうことか！」と分かったようでした。こうした遊びを繰り返し楽しみながら、「ルールが分かり、仲間と一緒に楽しむ」「チームで勝利を喜び合う」ことも経験してほしいと願っています。



☆笹飾り作り

今までも繰り返し使ってきたハサミやノリなどの道具。もっと自由自在に使えるようになってほしいなあ…と、今年の七夕に向けて2種類の笹飾りを作りました。子どもたちの中には“作ること(製作)”の苦手な子もいます。ハサミの持ち方や切り方は知っているけど上手にできないからやりたくない…と思っている子もいましたが、保育者と一緒に作っていくうちに「自分にもできた！」という達成感から、苦手意識が薄くなった様子を感じました。また、制作の好きな子たちにとっても、更にコツをつかみ、新しいことに挑戦したいという次への意欲につながっていったほしいです。



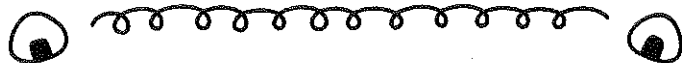
あつまりの活動と普段の遊びが繋がっていくように、あつまりでの経験がそれぞれの遊びへの刺激になるように…2学期はどんなことを年中のみんなと楽しもうかなあ…



年長あつまり



明日、明後日は、待ちに待ったキャンプっ!!今年は2年ぶりに宿泊をします。特別なことをするのではなく、慣れ親しんだ園での生活を全て自分たちで組み立て、仲間と共に協力して過ごす2日間です。子どもたちは1か月半ほど前から、あつまりの中でキャンプについての話し合いをし、準備をしてきました。話し合いの初日に「今年はお泊まりキャンプだよ☆」と伝えると、「やったあ♪」と喜び子がほとんどでしたが、キャンプのイメージがぼんやりしている子や「えっ…泊まる?」と戸惑った様子の子もいました。一人ひとり様々な思いを抱きながら、キャンプに向けて積み重ねてきた話し合い。友だちの前で自分の意見を言ったり、みんなで相談して決めるといった経験を大切にして進めてきた活動の過程をお伝えします♡



☆みんなで楽しく食事をするために…

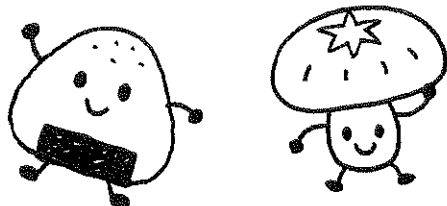


キャンプでは、にりん草さんが作ってくださる給食を夕食と朝食の2回いただきます。食事のメニューをみんなで決める前に、まずは保育者がアレルギーについて話をしました。すると1人の子が保育者の近くに来て、その日欠席していた友だちが持っているアレルギーのことを教えてくれたのです。自分のことではなくても、相手のことを想って行動できる姿に感動すると同時に、さすが年長さんだと感心しました。食べたいものを聞くと、カレーライス、うどん、お寿司、おにぎり、天ぷら、ぎょうざ、ウインナー、メロン、ヨーグルト、サラダ…などなど、たくさんの意見が。「みんなが食べられるものがないよね!」という声に対して、全員が共感する嬉しい場面もありました。多数決で決まった内容をにりん草さんに伝えると、子どもたちの思いをくみ取って、全員が同じ物を食べられるように食材を考えてくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです♡

【決まったメニュー】

夕食…わかめうどん・天ぷら・ゼリー

朝食…おにぎり・おみそしる・ウインナー



☆おやつは手作りしちゃいます

キャンプのおやつも自分たちで決めました。1日目のおやつは、候補に挙がったゼリーorタルトで多数決を取ることにしました。1回目は僅差だったので、それぞれの良さをアピールしてもらうことに。ゼリー派の「甘いよ」というPRやタルト派の「クリームがおいしい」というPRを聞いた上で、再度、多数決を取ってみると…タルトの圧勝!!「クリーム」というワードに心をつかまれたのかな(笑)。

2日目のおやつは手作りすることにしました。『キャンプでやりたいこと』を子どもたちに聞いた時、「お料理したい」と意見を出してくれました。子どもたちの「自分でやってみたい」という気持ちを大切に、挑戦しようと思います。しかし、まだまだ感染対策は必要です。今回は、1人ずつ自分の分だけを作ることにしました。

せっかくキャンプで食べる特別なおやつなので、ネーミングも子どもたちにお願ひしてみました。1日目のおやつは『スペシャルタルト』、2日目のおやつは『クッキーシャーベット』です。ありのままの素敵なネーミングですね♪

☆みんなで気持ちを分かち合いました

「キャンプは楽しみだけど、でも実はちょっと嫌だなーとか、こんな事が心配だな…とかある人はいる？」と聞いたところ何人かの子ども達が手を挙げ…。

「どんなことが心配？」と聞くと「夜オムツなんだけどさあ、寝るときのオムツがちょっと心配…」一人目の子からいきなりみんなの前で自らオムツのことを発言。すると「ぼくもオムツだし…」と打ち明け…。他にも「一人で寝るのが怖い」「朝起きれるか心配」「ママがいなくてドキドキする」「早く寝れない」「寝返りがすごい」「本を読まないと眠れない」「一人で夜トイレに行くのが怖い」「寝ているときにお化けが出たらどうしよう」色々心配事が出ました。初めは黙っていた子も、友だちが発言するのを聞いて安心したのか、思っていたことをたくさん話してくれました。一つ一つの悩みに対して、保育者やみんなからのアドバイスを聞いて「それなら大丈夫!!」「みんながいるから大丈夫だよ」と年長さんが互いに励まし、一致団結できた嬉しい時間でした!! キャンプに対して不安な気持ちが少しでも解消できたらと思います。

その後、カーテンを閉めて暗くした遊戯室で“キャンプファイヤーごっこ”をしました! 歌って踊ってとっても盛り上がりました。心配事もどこかへ行ってしまったかのように。キャンプ当日はもっともっと盛り上がり心に残るステキなキャンプになりますように。おうちの方もご家庭で子ども達のことをお祈りしてくださいと嬉しいです☆

(Rina & Aki)